

# 議 事 録

件 名	第3回 登別市水道事業ビジョン検討委員会	
日 時	令和7年9月4日(水)	自17:30 ~ 至19:30

## 検 討 委 員 会 内 容

### 1. 開会

- ・第3回 登別市水道事業ビジョン検討委員会を開会。

### 2. 議題

#### (1) 前回議事録の確認

- ・事務局より前回議事録の確認を行い、委員会より内容の了承を得た。

#### (2) 利用者アンケートの結果報告

- ・利用者アンケートの結果について、事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

(委員)

- ・年代別のアンケートの回答結果について確認したい。

(事務局)

- ・確認可能であるが、今回の資料では用意が無いため、次回委員会で提示する。

(委員)

- ・その他の意見の内容を確認したい。

(事務局)

- ・アンケート調査結果報告書の末尾にその他の意見をまとめている。

(委員)

- ・災害時に配布される飲料水はどのくらい日持ちするのか教えてほしい。

(事務局)

- ・常温であれば2～3日は持つ。

(委員)

- ・水道料金の支払いが2か月に1回なのは何故か教えてほしい。

(事務局)

- ・メーターの検針が2か月に1回であるためである。毎月検針する場合、利用者の負担が増える可能性があるため、2か月に1回としている。

(委員)

- ・安全性という質問についてどのような回答があったか教えてほしい。質問の意図が広いと感じる。

(事務局)

- ・PFAS や他事業体の水質事故のニュースに関する回答や、そういった不安についての回答があった。

(委員)

- ・安全性について、PFAS のような専門的な意見ではなく、より身近な、濁りやカルキ臭、老朽化といった水道の満足度に直接影響する意見もあると考えられる。それらをより重視してビジョンに反映させた方がいいのではないかと考える。

(次頁に続く)

## 検討委員会内容

### (3) 基本理念の設定・水道ビジョン施策案

- ・水需要の動向について、事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

(委員)

- ・貯水槽水道とは何か、説明してほしい。また、登別市内には何件あるか教えてほしい。

(事務局)

- ・貯水槽は階数の高い建物において使用されている。一度地上の貯水槽に水を貯めて、ポンプで圧送する形で水を供給している。所有者には年に一度掃除してもらえるよう周知している。登別市内に235件ある。昔は3階建て以上の建物は全て貯水槽が設置されていたため、昔の建物は設置されている割合が高い。

(委員)

- ・財政に関する施策が持続の中に含まれているが、安全、強靱、持続に全てにかかわるものであり、非常に重要であると考え。
- ・他事業体のような水質事故を防ぐために、利用者が何かおかしいと感じたときに、すぐに調査できる体制があると、より安全を確保できると思う。

(委員)

- ・資料に挙げられている4つの財源確保方策について、具体的にどのように取り組むつもりか教えてほしい。

(事務局)

- ・出来るだけ国の補助金を使用して収入を増やす、アセットマネジメントを実施することで事業を平準化する、といったことに取り組む。企業債の借入についても平準化する。

(委員)

- ・人口減少、施設の老朽化は他の市町村でも同様の課題と考えられる。水道料金の改定が必要と考えるが、改定の比率や頻度について、市民に納得していただけるよう、よく検討すべきと考える。

(委員)

- ・資料に挙げられている4つの財源確保方策以外に、何か良い解決策は考えられるか、教えてほしい。

(事務局)

- ・事業の広域化、民間企業の活用が考えられる。ただし、これらは必ずしも財政確保に効果があるか分からないため、シミュレーションをして確認する必要がある。

(次頁に続く)

## 検討委員会内容

### (4) 意見交換

(委員)

- ・住民が水道を直接飲料水として使用する量が増えたらいいのではないかと、料金改定だけではなく、より住民に水道水を使用していただけるよう考えることも重要である。

(委員)

- ・施設見学で浄水場の水の飲み比べをした際に、登別温泉浄水場の水は美味しいと感じたため、住民の皆様にも美味しいと感じていただけたらと思う。

(委員)

- ・水道水の美味しさと料金改定の必要性について、市民周知に力を入れた方がいいと思う。

(委員)

- ・令和9年に一度赤字となる試算であれば、料金改定の議論は早急に取り組むべきと考える。
- ・将来的にはDXや民間企業の活用でどの程度コスト削減が出来たか、公開する場があると良いと考える。
- ・水道ビジョン施策案の情報公開の取り組み内容として、ユーザーからの意見聴取も加えた方がいいのではないかと。住民の皆様が、利便性が向上することが分かるような記載を入れるべきではないかと。

(委員)

- ・水道料金を値上げする分、サービスの拡充があると住民の皆様にも納得いただけると思う。

(委員)

- ・ハザードマップにおける最大級の津波が来た際に、浄水場は稼働するのか。被災時の対応プランはあるのか。全面停電になったらどこまで水を配水できるのか。

(事務局)

- ・浄水場は被災しない位置であるため、稼働する。被災時の対応を整理した災害マニュアルを整備している。浄水場の自家発電設備を使用することである程度は対応可能である。

### 3. その他

- ・前回議事録をホームページに公表することについて委員会より了承を得た。
- ・次回委員会日時は11月6日 17:30~19:30とする。

ー以上ー